あの頃の思い出 ▸5◂

あかひら・まきお／1953（昭和28）年9月、秋田市生まれ。1976（同51）年に東大法学部卒業後、同年4月に第一勧業銀行に入行。銀座通支店副支店長、審査第2部審査役、大井町支店・支店長などを歴任し、2000（平成12）年に第一勧業信用組合経営企画室長。同組合常務理事・経営企画部長、専務理事を経て2014（同26）年、副理事長に就任。2019（令和元）年6月に副理事長を退任した。
秋田高校時代は生徒会長としてリーダーシップを発揮し、着装自由化の先頭に立った。現在は東京都北区在住。長男は独立し、妻と長女の3人暮らし。趣味は散歩と読書。

着装の自由化

48年前の岩盤規制の緩和

赤平 真樹雄（66）＝昭和47卒、当時の生徒会長

1971（昭和46）年11月12日に「着装の全面自由化」決議が行われました。1969年6月の男子生徒の夏期着帽自由化から始まった長い自由化運動の一つの結論でした。

一つの結論というのは、当時、これが大きな改革の出発点であると考えていたからです。最終的にはすべての規制を撤廃し、教師と生徒が自由かつ自主的に運営できる学園を目指していました。

結果としては、「着装の自由化」が目的そのものにすり替わり、それが達成されたという点のみがクローズアップされました。

消すな！着装全面自由化
回答から今後の展望
秋田高新聞

着装自由化問題を特集した昭和46年5月18日発行の「秋田高新聞」

本質的、哲学的問題を議論

しかしながら、2年半にわたって議論された中味は、かなり本質的かつ哲学的なテーマを含むものだったと思います。

「自由」とは、「自治」とは、「規制」のあり方等、「組織と人間」そのものに関わる議論が行われました。

特に「自由」の議論については、『自由への道』（サルトル）、『自由からの逃走』（フロム）等の書物のほか、「自由のコスト」「自由の責任」等の真に深みのある議論ができたと思っております。

あまり知られていないことですが、1971年9月11日、12日の秋高祭では、テーマソングを「君が代」とすることを提案しました。しかし、これだけは中止するようにとの強い意見があり、結局「翼をください」に変更することになりました。それでも、秋高祭の両日は、革命前夜（言いすぎ！）のようなにぎわいがあり、本来の意味のフェスティバルであったとの印象が今も強くあります。

相互の立場尊重しフェアに

あの時代を振り返ると、あの時ほど真剣に時間をかけて議論をし、解決策＝出口を見つめたことはなかったような気がします。それは、戦略とか戦術といった、方向を導きだすための論理ではなく、「自由」という出口に対す

わかみ歯科クリニック
院長／歯学博士
Oralphysician
小玉 尚伸
（昭和58年卒）
〒010-0422 秋田県男鹿市角間崎字百目木48-1
TEL：0185-46-2828 FAX：0185-46-2335
http://wakami-dental.jp

パッケージの桑原
代表取締役社長 桑原 透
（昭和58年卒）
本社／秋田市卸町四丁目7番9号
TEL018-863-1818

内科・消化器内科・糖尿病内科
くらみつ内科クリニック
倉光 智之 昭和58年卒
〒010-0951 秋田県 秋田市 山王5丁目10-28
Tel：018-867-7411
Fax：018-867-7412
E-mail：info@kuramitsu-clinic.com
http：//www.kuramitsu-clinic.com

株式会社 相場商店
専務取締役
相場 宏泰
（昭和58年卒）
秋田市楢山登町1番20号 〒010-8520
TEL.018-833-8766（直通）FAX.018-835-2231
URL：http://www.aibashouten.co.jp